市内で行われたイベントや行事、まちの話題を写真と一緒に紹介します。
また、みよし市ホームページでは「Topics（まちの話題）」と「市政番組『みよしTODAY』動画配信」でイベントや行事の様子を紹介しています。URL http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/

誰よりも速く

第22回市民カヌー大会
第28回中学校対抗カヌー大会

カヌー競技の普及と競技力の向上および青少年の健全育成を目的に7月2日、三好池カヌー競技場で第22回市民カヌー大会と第28回中学校対抗カヌー大会が行われました。初めに小野田賢治（おのだけんじ）市長が「日ごろの練習の成果を発揮して、大会を大いに盛り上げてください」と激励。続いて、選手を代表して南中学校の吉見夏陽（よしみなつや）くんが「仲間を信じ、最後の一パドルまで全力で漕ぎ切ることを誓います」と力強く選手宣誓をしました。その後、選手たちはそれぞれの種目に分かれて競技を開始。応援に駆け付けた家族や仲間の声援を浴びながら、自己ベストを目指して全力でパドルを漕いでいました。なお、中学校対抗カヌー大会では北中学校が総合優勝し、8連覇を達成しました。

災害への備えを再構築

熊本地震に係る派遣職員報告会

熊本地震による災害の復興支援のために4月から被災地へ派遣されているみよし市職員の報告会が7月10日、みよし市役所で行われました。初めに、熊本県益城町（ましきまち）危機管理課に派遣されている安藤太優（あんどうたいゆう）主事が、熊本地震による被害の状況や現在の復興状況について説明。続いて、これまでに避難所マニュアルの作成や、地域防災計画の見直しを行ったこと、また、今後は災害時行動マニュアルの作成や、避難所マニュアルの普及活動を行う予定であることなどを報告しました。報告を終えた安藤主事は「任務は残り9カ月となりましたが、自分ができることを全力で行い、熊本の復興に貢献します」と話していました。

丹精込めて作った野菜です

農作業研修で収穫した生産物の贈呈

市内の農業の活性化や地産地消の推進、市民の健康増進や福祉などに寄与することを目的に、今年4月に市とあいち豊田農業協同組合が共同でみよし市農業維持･活性化会議を設立しました。この活性化会議内に設置された明知施設利活用検討委員会が栽培した野菜の贈呈式が7月7日に行われました。贈呈に先立ち、鈴木淳（すずきじゅん）副市長が「農業の後継者育成が課題となる中、今回のような取り組みをしていただいたことに感謝します。また、この取り組みを通して、地産地消など地元の農業の循環の輪が発展して欲しいと思います」とあいさつ。続いて、あいち豊田農業協同組合常務理事の小山克弘（こやまかつひろ）さんが、社会福祉法人あじさいの会、社会福祉法人あさみどりの会の代表者に、この日の朝に収穫したばかりの新鮮なカボチャとジャガイモ、ナス、ピーマンを贈呈しました。

消防団活動を応援します

消防団協力事業所等への表示証交付式

市では、消防団員が所属する事業所などの社会的評価や信頼性を高め、消防団活動に対するより一層の理解の促進および事業所などと消防団との連携強化を図ることを目的に、今年度から消防団協力事業所表示制度を実施しました。今回、実施後初の表示証を、東海学園大学、あいち豊田農業協同組合の2事業所に交付するため7月14日、交付式が市役所で行われました。交付式には、東海学園大学から田中祥雄学監と加藤實教授が、あいち豊田農業協同組合から伊藤欽治参与がそれぞれ出席。交付を終えると小野田賢治市長が「事業所の皆さまのご協力は大変うれしく、心強く感じます。連携を今まで以上に強化して、災害時などにも皆さまの力をお借りしたいと思います。今後も消防団活動へのご協力をよろしくお願いします」と、今後の協力を呼びかけました。

たくさんの人の温かい協力

ぞうきん･タオル贈呈式

市内在住の65歳以上の会員で組織されるいきいきクラブみよし連合会。その女性部員が中心となり、集められたぞうきんとタオルを、デイサービスセンターや老人保健施設、地域活動支援センターなどの福祉施設で役立ててもらおうと7月7日、ぞうきん･タオル贈呈式が福祉センターで行われました。式では、女性部員の皆さんが、集まったぞうきんやタオルを福祉施設の皆さんに手渡しました。その後、市内の福祉施設を代表してみよしデイサービス陣取の里の福岡光久さんが「毎年、たくさんのぞうきんとタオルを寄贈していただき、大変役立っています。今年頂いたものも、大切に活用したいと思います」とお礼の言葉を送りました。最後には意見交換の時間が設けられ、女性部員と寄贈先施設関係者の交流の場となりました。今回、贈呈されたのはぞうきん1,175枚、タオル2,586枚、その他114枚の合計3,875枚で、施設の清掃や食事介助に幅広く利用されます。

和楽器とピアノのセッション

七夕のゆうべ

ライトアップされた日本庭園で音楽を聞きながら楽しい夜のひとときを過ごしてもらおうと7月8日、サンアートふるさと会館で七夕のゆうべが行われました。この日は、篠笛とピアノユニットの星空ラマンが出演。七夕にちなんだ曲や星空ラマンのオリジナル曲などが演奏されると、来場者たちはうっとりとした表情で曲に聞き入っていました。続いて、和太鼓奏者の浅野聡太（あさの そうた）さんと津軽三味線奏者の杉山大祐（すぎやまだいすけ）さんも参加。しっとりとした曲からアップテンポな曲まで、和太鼓と津軽三味線が加わった力強い音色の演奏に、客席からは大きな拍手や歓声が送られました。会場を訪れた男性の一人は「初めて来ましたが、きれいな日本庭園の中で和楽器による素晴らしい演奏を聞くことができて良かったです」と満足そうに話していました。

交通安全に気を付けましょう

夏の交通安全県民運動店頭啓発

7月11日から20日までの10日間、県下一斉に実施される夏の交通安全県民運動。その一環として、交通安全を呼び掛ける店頭啓発が運動初日の7月11日、ベイシア三好店で行われました。この日は、みよし市交通委員、みよし市交通指導員、市職員の合わせて13人が参加。初めに、みよし市交通委員長の中原明（なかはら あきら）さんが「交通安全県民運動が終わるころには、夏休みが始まります。子どもたちが楽しく安全な夏休みを迎えられるように、皆さんに啓発しましょう」とあいさつし、啓発活動を開始。参加者たちは「交通安全に気を付けてください」「夜間の外出時に、ぜひ使ってください」などと買い物客に声を掛けながら、店頭の入り口や駐車場で、夜間にも目立ちやすい反射材付きのネックストラップを笑顔で手渡していました。